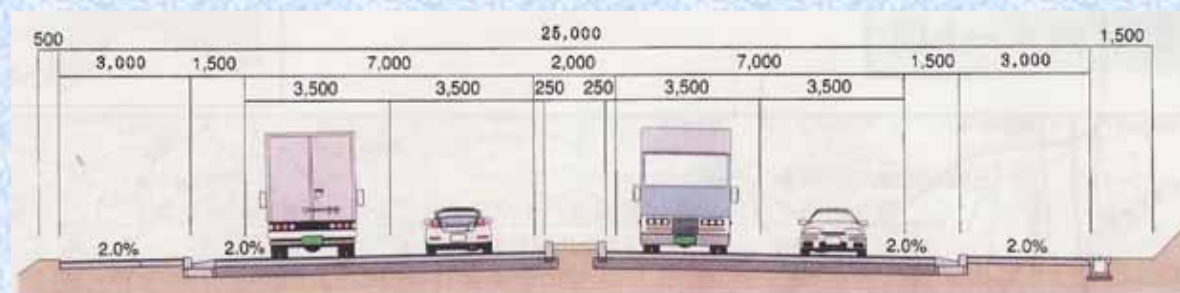


事業概要・橋梁概要

一般国道 288 号は、郡山市を起点とし、双葉郡双葉町に至る延長約 71km の幹線道路です。郡山都市圏の交通混雑の緩和及び郡山市街地と磐越自動車道郡山東 IC の連絡強化を目的として、富久山バイパスを整備しています。富久山バイパスと交差する阿武隈川を横断するために 4 径間連続ラーメン鋼鈹橋の富久山橋を架橋します。現在は上り線の架設を行っており 2 車線暫定供用をしますが、上下線が完成すれば 4 車線供用となります。



一般国道 288 号 逢隈橋

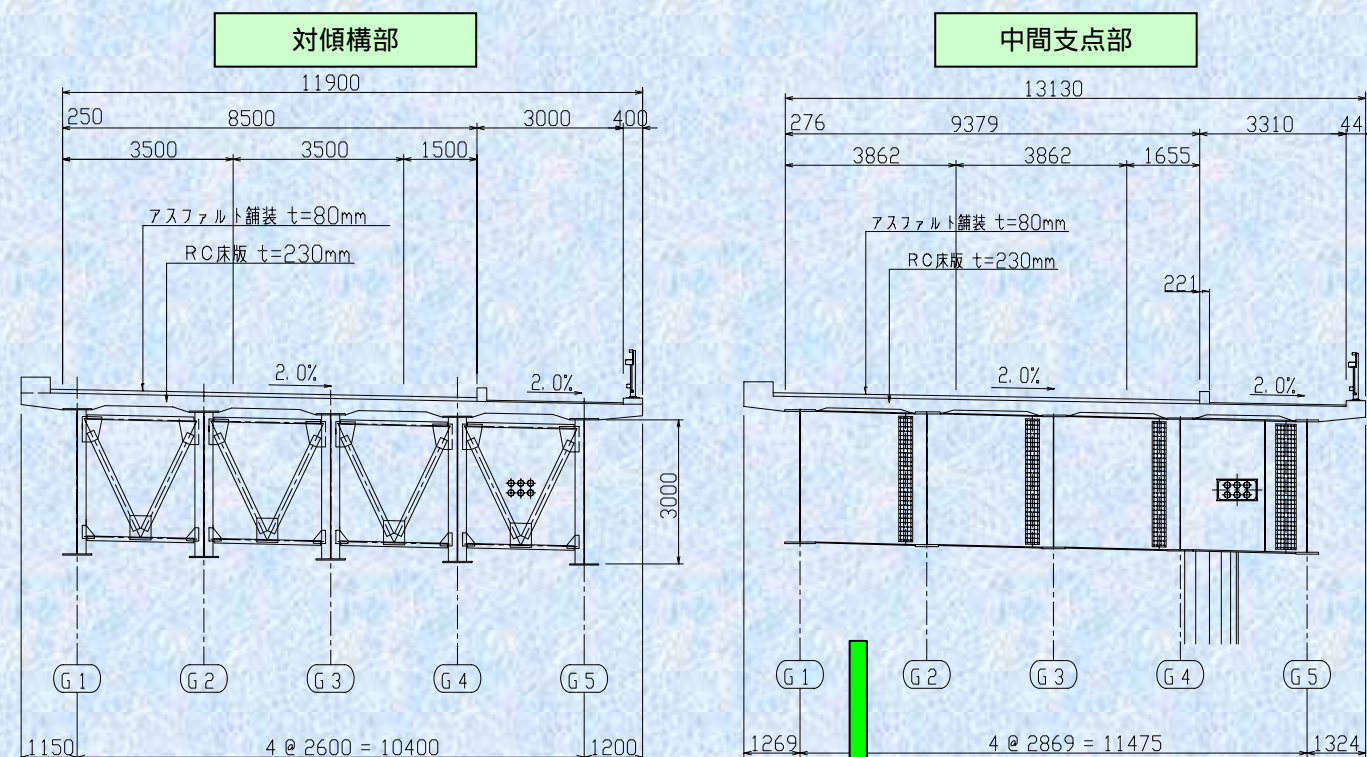


一般国道 288 号バイパス 車線区分



架設時の状況 A 1 側から A 2 側を望む (2007 年 5 月現在)

断面図 S=1:100



剛結構造って何？

橋梁には、桁橋、トラス橋、アーチ橋、ラーメン橋、斜長橋、吊橋などの形式があります。その中で、桁と橋脚が一体となっているものをラーメン橋といい、橋脚と桁が交わっている部分を剛結と呼んでいます。

桁橋では、桁と橋脚の間に支承があり、これにより上部構造から下部構造に力を伝達しています。一方、ラーメン橋は、桁と橋脚を一体化（剛結）することで力を伝達しています。

富久山橋では、経済性から橋脚がコンクリートで桁が鋼の複合剛結構造としています。

剛結構造の特徴

中間支点部では支承が不要になり、維持管理が低減されます。

ラーメン構造であり、大規模地震時に対して耐震性に優れています。

支承構造の橋脚と比較して、橋脚付け根の曲げモーメントが上・下端に分配され、壁厚・フーチングの形状がコンパクトになります。

接合方法は多種多様で、各方面で接合方法の研究が行われています。



中間支点部での作業状況

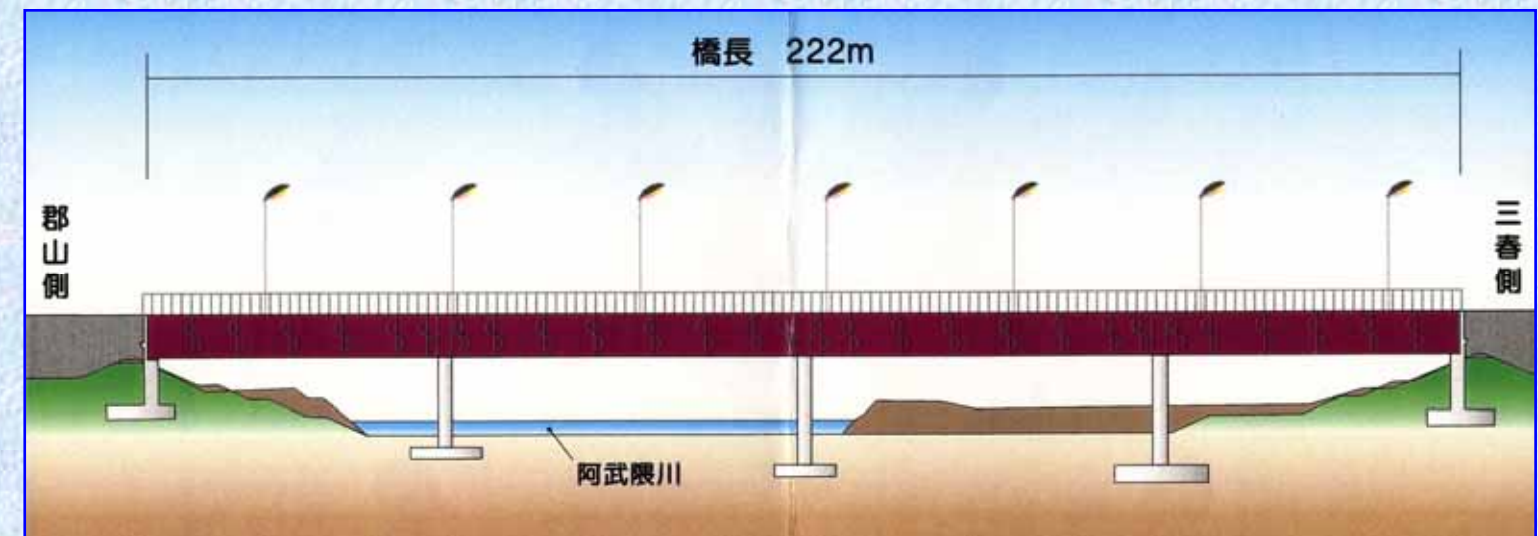


剛結構造の例 = 横浜青葉 IC =

国道改築工事

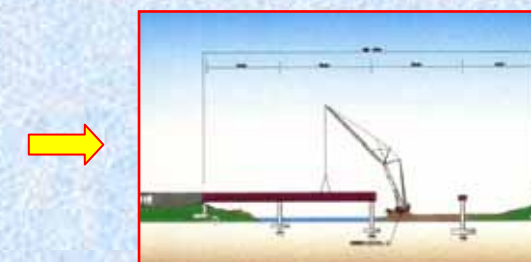
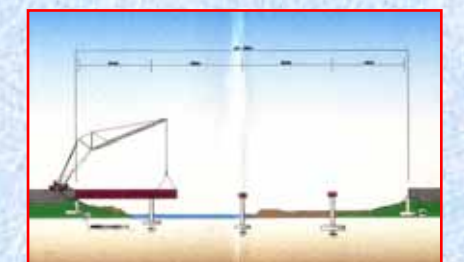
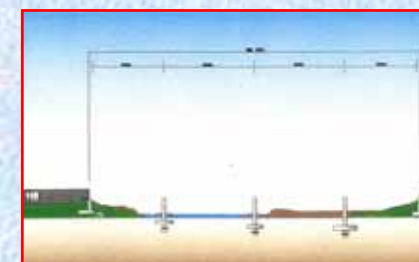
富久山大橋

架設位置



福島県で初めての、橋脚と橋桁がコンクリートと一体化した剛構造です。

架設ステップ



お問合せ先

〒963-8540

福島県郡山市麓山 1-1-1

福島県県中建設事務所道路グループ

電話 024-935-1431



福島県県中建設事務所

サクラダ・佐世保特定建設工事共同企業体